

■ 主な機能

● 標準 ● オプション

	Complete	Smart	Processor	Gateway	
基本機能	Queue管理/ステータス	●	●	●	●
	文書管理/セクション/ページ差替	●	●	—	●
	ユーザー管理(ユーザー登録とアクセス権限)	●	●	●	●
	クライアントソフト -Workflow (Mac & Windows)	●	●	●	—
	クライアントソフト - 面付けエディタ (Mac & Windows)	●(10)*1	●(2)*2	—	—
	ジョブテンプレート作成	●	●	●	●
	ローカル承認/ストリーミング機能	●	●	—	—
	XMFビューア・クライアント 5アクセス追加	●	●	●	—
入力	DropFolder, Drag&Drop, NamedPipe 等	●	●	●	●
	面付けJDF入力	●	●	●	—
	MIS JDF入力	●	●	—	—
	1bitTIFF入力	●	●	●	●
PDF 生成	PDF変換/サムネイル作成/フォント埋込み/カラー管理	●	●	●	—
	PDF出力/プレフライト&アクションリスト	●	●	●	—
	PageBox調整	●	●	—	—
エクスポート	「FinishedPDF/X」出力	●	●	●	—
	面付け済みPDF/面付けJDF (PDF含む)	●	●	—	—
	PDF & JDFジョブデータ	●	●	—	—
	プレスインターフェース(CIP4)	●	●	●	●
	Proof / LR Tiff出力ライセンス	●	●	●	—
	CTP / HR Tiff出力ライセンス	●	●	●	—
ビューア	PDFビューア・クライアント アクセス標準	●(10)	●(5)	●(1)	—
	2D単ページビューア	●	●	—	—
	3Dビューア	●	●	—	—
	面付けビューア	●	●	●	●
	網点ビューア(レンダリングモード)	●	●	●	●
	文書ビューア(プレビューモード)	●	●	●	●
ビルトイン面付け	面付け・大貼りテンプレート作成/自動面付け	●	●	—	—
演算	Adobe PDF Print Engine 4	●	●	●	—
	Adobe InRIP Trapping	●	●	●	—
	位置加減補正(紙伸び対応)	●	●	●	—
ブルーフ	RIP Proof & ProoferCMS	●	●	●	—
	ROOM Proofing	●	●	●	●
	低解像度プレビュー画像	●	●	●	—
管理ツール	キャリブレーション(カラーパスオーガナイザー)	●	●	●	●
	ジョブアーカイブ	●	●	●	—
	ネイティブファイルアーカイブ	●	●	—	—
オプション網	TAFFETA サーマル用/パイオレット用	●	●	●	—
	CoReスクリーン サーマル用/パイオレット用	●	●	●	—
	CoRe II スクリーンサーマル用	●	●	●	—
	Luxel EXG サーマル用	●	●	●	—
Web ポータル	XMF Remote接続	●	●	—	—
MIS密連携	XMF Controller接続	●	●	—	—

■ XMF RemoteはXMF Complete, Smartとの連携で動作します。XMF Processorは対応していません。
 ■ XMF Remoteには別途インターネット接続のための機器や環境構築が必要になります。
 ■ 仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
 ■ 社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。
 ※1 標準で10クライアント、オプション追加可能
 ※2 2クライアント(追加不可)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。 ■社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。



次世代ハイブリッドワークフロー

XMFの変革力で、「働き方」に改革を。
「企業経営」に革新を。



「業務の見える化」と
「社員の働き方改革」で、
あなたの会社を、
もっと自由に、もっと強く。

xmf

ICT時代を勝ち抜ける 「強い会社」とは？

加速するインターネット社会の中で“予測困難”なほど消費者ニーズが多様化し、印刷発注者や受注者を取り巻く環境が劇変している「ICT時代」。この大きな時代の変化に対応していける「強さ」とは何なのでしょう。ICT時代に本領を発揮し業績を伸ばし続けられるのは、どんな会社なのでしょう。

ICT時代に成長できる「強い会社」の基盤

- ITを駆使し、つねに「早く正確な経営判断」を下せる
- 工程全体の生産性だけでなく一人あたりの生産性が高い
- 小ロット・短納期の仕事でも安定して利益を上げられる
- クライアントに対し、印刷会社ならではの視点で幅広い提案が行なえる
- 持続的な成長を目指し、新たな取り組み・挑戦を厭わない

ICT時代に「強い会社」へと成長させるために、非常に有効な方法が二つあります。一つは、徹底的に「業務の見える化を図っていく」こと。そしてもう一つは、「社員の働き方そのものを根底から改革していく」ということ。具体的に言えば、富士フィルムのXMFワークフローによる「見える化」と「働き方改革」で、収益改善を実現する。「強い会社」をつくる。その結果、クライアントからの信頼度もさらにアップし、ビジネスに好循環が生まれる。印刷分野に高収益企業が増え、業界全体が活性化していきます。

XMFは、個々の機能性だけが売り物の、単一的なワークフローシステムではありません。XMFには、働き方まで改革できる統合的な力があります。そこに、他社システムとの決定的な違いがあります。世界の企業に次々と選ばれる、最大の理由があります。

人を活かし時間を操り、
利益を増やす。
あなたの会社の、
不断の発展のために。



印刷会社・印刷工程における 「見える化」「働き方改革」とは？

「Remote 活用」で、管理体制が変わる

印刷会社における業務の「見える化」とは、簡単に言えば「印刷ジョブごとの“時間管理”によって“実質的な原価と利益”を明らかにすること」。同じ内容の仕事でも、何人のスタッフがどれだけの時間をかけたかによって、実質的な利益は違ってきます。重要なのは「時間コスト」の管理。まさに、XMFが最も得意とする管理手法の一つです。XMFにすべてのジョブを登録しておけば、『XMF Remote』によって誰でもいつでもどこからでも簡単に、進捗状況をはじめとするさまざまな情報を正確に把握することができ、「時間コスト」を含めた統合管理が可能になります。XMFによる「業務の見える化」は、経営改革への、確かな・大きな第一歩です。

「働き方改革」で、「労働生産性」が高まる

「見える化」することでジョブごとの収益を把握できるようになりますが、大事なのは、「見える化」の、その先です。的確な「時間コスト」の管理によって「いかに労働生産性を高められるか」が「強い会社づくり」の最重要課題になってきます。「労働生産性が高い」とは、従業員一人あたりの利益率が高い、ということ。より少ない労働投入量で、より多くの利益を生み出せるということです。労働生産性をアップさせるには、主に4つの方向性が考えられます。

- ① 付加価値の高い商品を提供する
- ② 仕事の効率を高める
- ③ 無駄な作業をなくす
- ④ 商品の不良、資材のロスを追放する

XMFには、これらのすべてを同時に実現できる力があります。そのベースになっているのが、社内はもちろんのこと、クライアントや協力会社も含めたあらゆるメンバーの「働き方」を改革する力。さまざまな工程を自動化・高速化・高精密度でき、工程の進捗をすべてのメンバーが共有し推進できることにより、「仕事の流れ」「人の働き方」が一変し「労働生産性」が格段に高まります。さらに、こうして蓄積されたデータを有効に活用することで、将来的には、より高度に自動化された『スマートファクトリー』にも発展させることができるのです。

一つひとつの「困りごと」を、大局的に解決していく。 部署を超え、企業の枠を超えた「全体最適化」によって。

リモート機能を縦横無尽に活用した XMFならではの「課題解決力」とは？

世の中にワークフローシステムはいくつもあります。XMFが明らかに他システムをリードしているのは、「課題解決力」のスケールの大きさ、そして現場での実績、成功事例の豊富さです。とくに、『XMF Remote』の活用による「経営改善」の効果に対し、国内外を問わず、導入先のお客さまからたくさんの具体的な評価をいただいています。「入稿」から「制作・校正・検版・進捗確認・刷版」に至るまで、印刷物の製作に関わっている「クライアント」から「印刷会社の営業・工務、DTP・刷版オペレーター」まで、すべての皆さまの「困りごと」を、XMFは、定評ある高度な機能を組み合わせ、次々と解決していきます。



日々の多忙な業務の中でこんな「お困りごと」はありませんか？

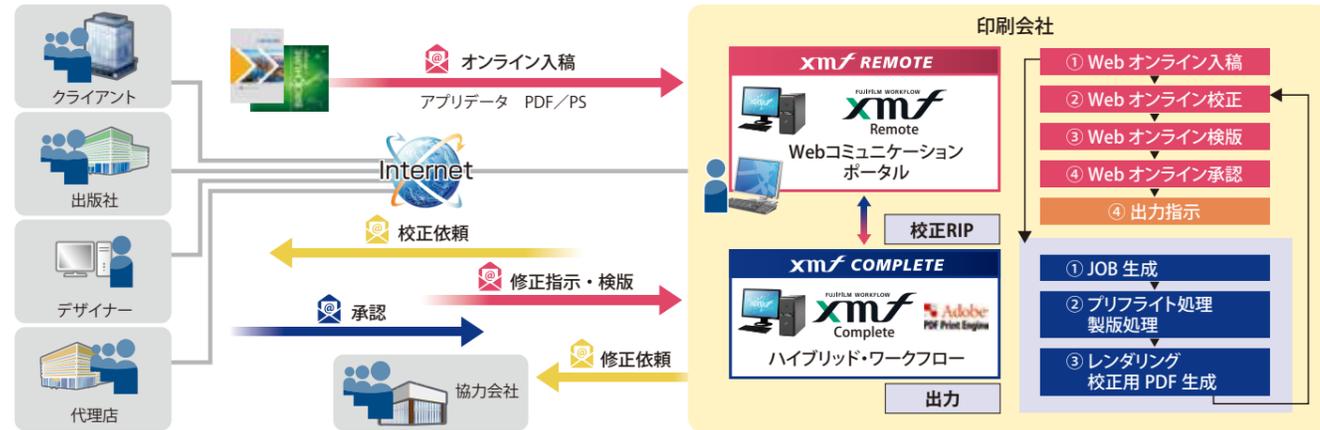


「見える化」「働き方改革」の力で、「本当に強い会社」を築き上げるために。
つねに次代のニーズを見据えながら、XMFは
攻めの開発で、ワークフローシステムの可能性を拡げ続けます。

XMF REMOTE

XMF Complete / XMF Smart に対応

インターネットを活用し、クライアントや協力会社との間で「データ入稿・校正・検版・承認」が自由自在に行なえる、実践的なWebポータル。XMFの多彩な機能を活かした新たなインフラを構築することで、生産工程全体の最適化が図れ、付加価値の高いサービス提供により、クライアントとの信頼関係を強化できます。



HTML5に対応

クライアントが使用するすべての機能をHTML5に対応。これにより、Javaが使用できない環境のPCやiPadでもXMF Remoteをご活用いただけます。



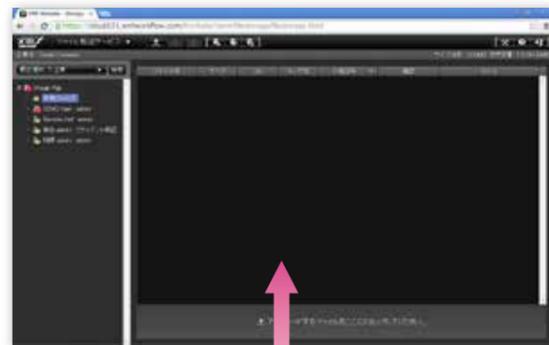
日本独特の複雑なフローに適切

内校や外校など、クライアントや部署間でさまざまな担当者の承認を必要とする重層的な校正フローに対応できる「多段階承認機能」や、クライアント側の大勢の製作関係者の中から自身の担当者のみを個別に管理できる「営業担当顧客機能」、あるいは、XMFの操作に不慣れな人でも簡単にジョブを作成できる「Remoteからのジョブ作成機能」など、日本独自の複雑なフローに柔軟に適切できるキメ細かな機能を凝縮しています。

Webオンライン入稿

アプリケーションデータは「フォルダ単位」で、PDFなどの印刷用データは、ページを指定してドラッグ＆ドロップによる簡単なデータ入稿が可能。印刷用データの入稿ではプレフライト処理が自動で行なわれ、「結果レポート」や「校正用画像」が入稿者にメールで自動送信されます。

※ブラウザにより一部機能に制限があります。



セキュアな暗号化通信

SSL対応により、情報漏洩などネットワークのリスクを回避。またユーザーごとにID/パスワードが割り振られ、データへの不要なアクセスを制限できます。

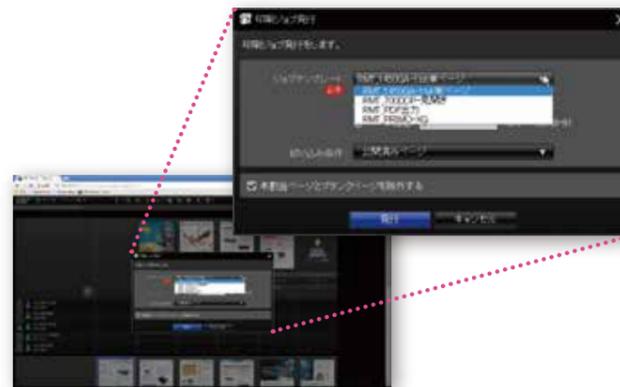
Webオンライン校正/承認

XMFで演算済みの結果を見ながら効率的なリモート校正が可能。画面上で簡単・確実に変更指示が行なえ、iPadやペンタブレットも利用できます。多段階の承認を必要とする複雑な校正フローにも対応しており、各担当の承認状況を一覧できるなど、円滑なコミュニケーション環境が構築できます。



印刷ジョブ発行機能

外出先から、校正出力や東見本出力などの「プルーフ出力指示」が簡単に行なえます。外出中に出力指示をかけておけば、帰社時には、「すでに出力されているプルーフ」を確認するだけ。時間が有効に使え、仕事が効率的に進みます。



検版機能

アップロードされたデータはすべて履歴管理されており、修正前デザインとの比較検版が可能。さらに、「アオリ機能」や「強調表示」などによって、修正箇所を一目で素早く確認することができます。



メールアドレスでのジョブ参加機能

少数・単発のジョブにしか関わらないクライアントに対し、アカウントを発行することなくメールアドレスの登録のみでXMF Remote上のジョブへ参加していただくことが可能。この機能により、より多くのクライアントに、「オンライン入稿・校正・承認」の便利なフローを提供することができます。

iPad Viewer 機能

いまビジネス分野にも普及が進んでいるiPadを、『XMF Remote』の校正用デバイスとして活用可能。iPadを利用すれば、校正紙に直接書き込むような、アナログ感覚で赤字を記入できます。iPadの活用により、会社でも自宅でも移動中でも、早朝でも深夜でも、時間や場所の制約なしに、効率的な「校正・検版・進捗確認」が可能になります。



データ入稿や校正などをオンラインで行なえる
Webポータルシステムとして、
業務改善・工程改善に貢献します。

xmf REMOTE Type-S

XMF 以外のワークフローにも対応

XMF Complete/Smartはもちろん、他のワークフローシステムをお持ちの場合でも、『XMF Remote Type-S』を追加導入することで、ブラウザ上でのオンライン入出稿・校正が可能になります。

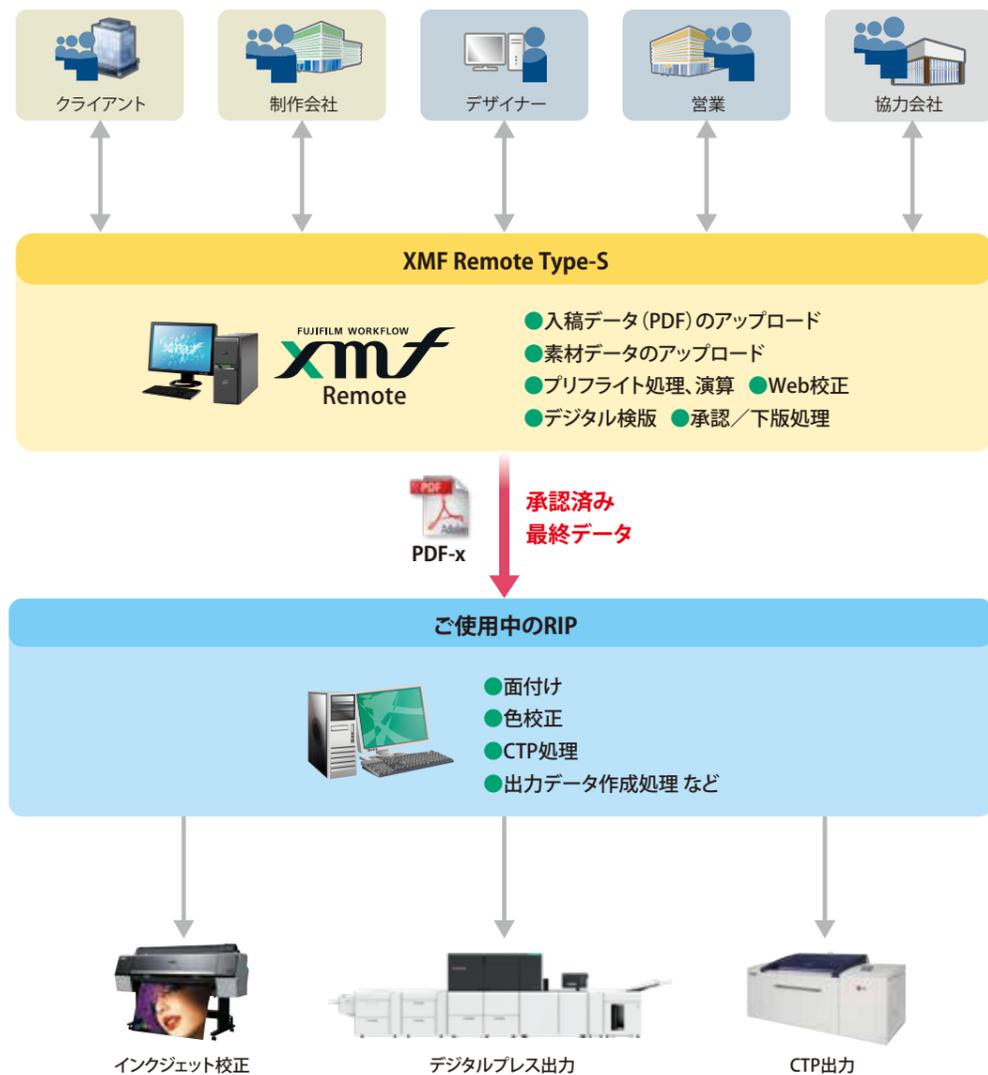
幅広いRIP環境に対応

Type-Sは、XMF以外のワークフローシステムにも幅広く対応。プリプレスの既存設備を変えずに、さまざまなリモート機能の活用により「ジョブ進捗の見える化」や「校正フローの効率化」が図れます。

XMF Remoteの全機能を活用可能

搭載される機能は、XMF Remoteと共通。入稿からプリフライト処理、校正・検版、下版までの工程を、オンラインで完結できます。最新のAPPEにより、最終PDFの書き出しもスピーディーに行なえます。

XMF Remote Type-S 運用イメージ



本当の効率化とは何か、本当の安心感とは何かを徹底追求。
工程の全面最適に向けて、一つひとつの機能が、
現場にゆとりをもたらし、営業に新たな戦略、新たな勢いをもたらします。

xmf COMPLETE

主要機能をフル装備した、ハイエンドシステム。どの出力機を選択してもつねに安定した出力が行なえ、時代のキーワードである「ワンストップ・プロモーション」の中核として、あらゆるシステムをハイブリッドに統制します。

xmf SMART

必要機能を幅広く網羅した、スタンダードシステム。最新バージョンでは、『XMF Complete』と同様に、『XMF Remote』や『XMF Planner』を活用することができ、より発展的・戦略的なワークフロー構築を可能にします。

xmf PROCESSOR

RIP機能を主に必要とされるお客さま向けの、Adobe PDF Print Engineを搭載したベーシックシステム。台割や面付け等の機能を追加して、『XMF Smart』『XMF Complete』へアップグレードすることができます。

xmf GATEWAY

1 bit TIFFを受けてCTP出力するためのコントローラー。CTP出力用途に特化した、信頼性の高いミニマムなXMFです。

Adobe PDF Print Engine

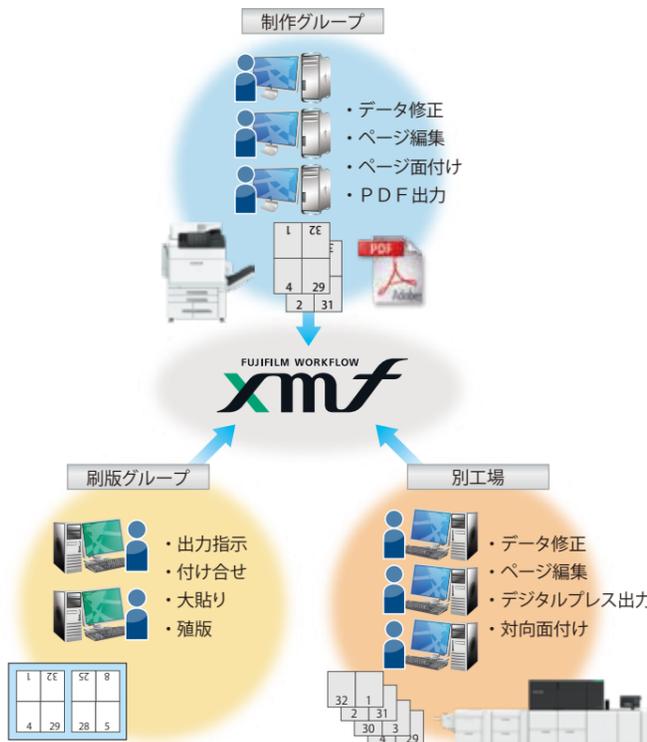
- COMPLETE
- SMART
- PROCESSOR

高速演算技術「Mercury RIPアーキテクチャ」に世界で初めて対応。従来、デバイスごとに用意しなければならなかったRIP演算装置を、XMF1台に集約することができるので、RIPの導入コストだけでなく、システム運用・保守コストの大幅削減に貢献します。

マルチクライアント

- COMPLETE
- SMART

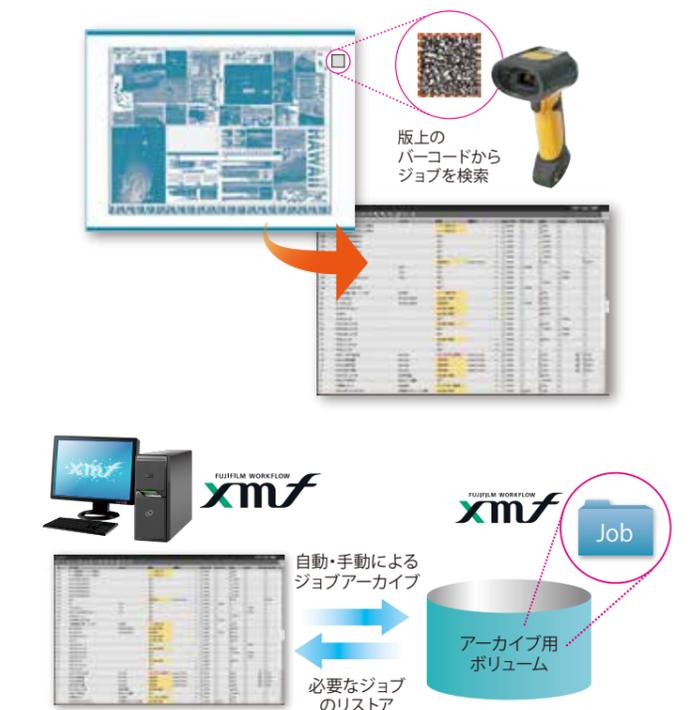
クライアント/サーバモデルの採用により、面付け作業や出力変更などの処理を複数のオペレーターが同時に行なえます。
※Completeは面付け10クライアント、Smartは2クライアント



ジョブ管理機能

- COMPLETE
- SMART
- PROCESSOR

各ジョブは、アーカイブして「仕事ごとのデータ」や「出力のための設定」を一元管理できるので、「再刷」「改訂」「流用」などの要求にも素早く正確に対応できます。また、ブルーフやCTP版、印刷物にバーコードで管理情報を入れることで、検索性が一段と高まります。「定期自動バックアップ機能」も、管理の負担を軽減する有効な機能の一つです。CTPの在版データとDTPデータの一元管理が実現し、再版・改版要求への迅速かつ柔軟な対応が可能になります。



ページプリパレーション機能 ● COMPLETE
● SMART
● PROCESSOR

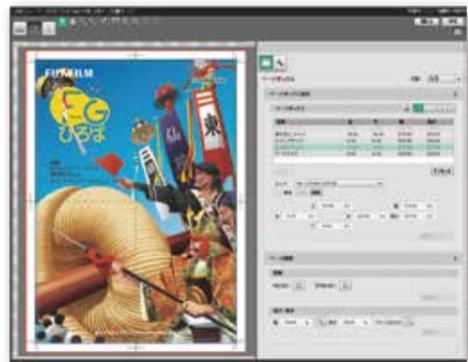
最新データ形式を含む多様なデータ入稿に対応するページプリパレーション機能とプレフライト機能により、煩雑なデータチェックや出力不良による面倒な直し作業が軽減します。最適化された安心・安全な汎用PDF『FinishedPDF/X』を、出稿データとして活用できます。

※プレフライト機能・PDF出力機能は、Smart、Processorではオプション



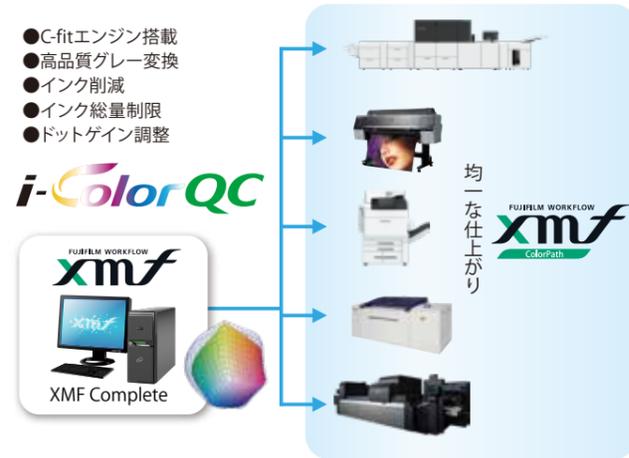
入稿データの前処理機能 ● COMPLETE
● SMART

入力データの「トリミング」や「サイズの縮小・拡大」がRIP内で行なえ、「トンボの検出～センタリング」なども任意にRIP内で処理可能。入稿データの前準備の作業負荷が大幅に軽減し、工程の効率化が実現します。



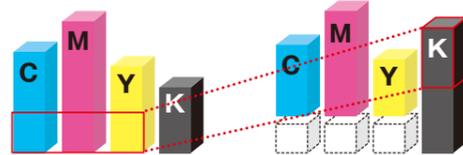
カラーマネージメント機能 ● COMPLETE
● SMART
● PROCESSOR

入力からブルーフ、オフセット印刷機、デジタルプレス、ワイドフォーマット印刷機まで、全工程の機器間の色差を、標準化されたターゲットに合わせて自動補正し、カラーパスオーガナイザーが管理します。また、i-ColorQCサービスと『XMF ColorPath』を組み合わせることで、より高精度のCMSを実現します。



インク削減機能 ● COMPLETE
● SMART
● PROCESSOR

PDF上ではなく、演算時にインク削減を実施するので、透明効果やオーバープリントでも品質を損ないません。インク削減量も簡単にコントロールでき、また、色変換とインク削減機能を独立させているため、印刷機ごとの色差を埋める色変換を行なった後からでもインク削減を実施することができます。

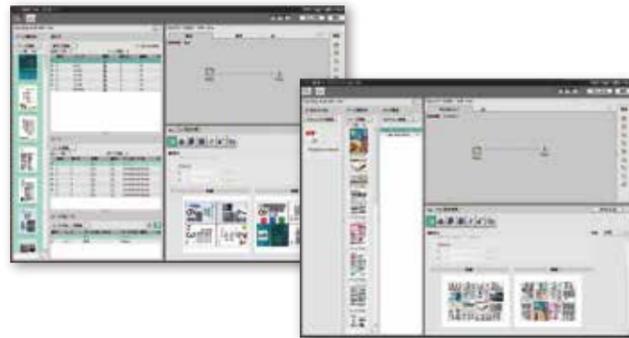


ビルトイン面付け・大貼り機能 ● COMPLETE
● SMART

個別ソフトではなく「面付け・大貼り機能」をビルトインしているため、ページの差し替えや面付けの変更時に面付けソフトに後戻りする必要がありません。搭載した「面付け・大貼り機能」は、機能性において専用ソフトを凌ぎ、複雑な面付けパターンや背丁・背標、送りの自動設定など、日本独自の高度な要望にもラクラク対応できます。また、マルチクライアントによって複数のオペレーターが同時に面付け作業を行なえるため、面付けソフトの順番待ちによるボトルネックも解消され、作業の標準化にもつながります。

● 台進行モード&パンフレットモード

仕事内容に応じて最も使いやすい操作方法を選択し、「ページの割り付け」と「台割の設定」を効率よく進められます。



● 複雑面付けパターン作成

「文庫本面付け」や、複数の印刷機を用いた「Multi Web」「リボン」「カム&ゴー」「カット&スタック」など、特殊な後加工用の面付けも簡単に設定可能。日本ならではの特殊な面付けを「設定」として選択できます(パターンとして登録も可能)。また、紙の厚さを登録しておくことで自動で送りが調整されるなど、複雑な面付けが誰にも確実にこなせます。



● 背丁・背標エディタ

テンプレートとして管理でき、異なる面付けパターンにも流用することができます。台進行モードと連携させれば、「飛び番の折りの付け合わせ」や「異なるサイズの面付けパターンを組み合わせた台割」でも、複雑な設定なしに自動処理で、折りに対して最適な背丁・背標を設定可能。面付け作成時のミス・ロス、手間の削減に大きく貢献します。



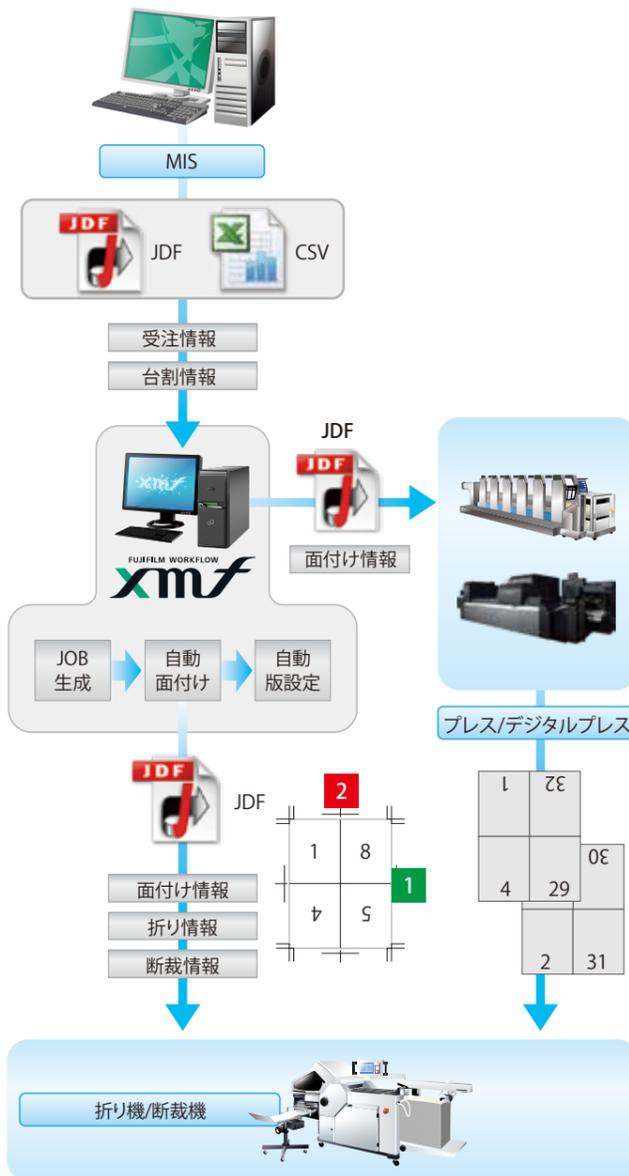
JDF/CSV連携機能 ● COMPLETE
● SMART

JDFを使ったMISとの連携はもちろん、CSVによるMIS連携も可能。また、JDFによりPODや後加工機と連携し、より効率的な生産体制を組むことができます。

※MIS連携(JDF)はCompleteに標準搭載、Smartはオプション

※CSVによるMIS連携はオプション

※JDF出力はSmartではオプション



xmf Controller

XMf Complete / XMf Smart に対応

MISとXMfのより密な連携を可能にするシステムです。MISに入力されているジョブの基本情報をJDFまたはCSV形式で受け取り、XMfジョブを自動生成することが可能。印刷機や面付け・ページ数・製本仕様などの変更の際には、Webブラウザから簡単操作で変更指示が行なえます。また、ジョブの進捗状況や実績（面付け結果、CTP版出力状況など）は、XMfからMISにフィードバックすることができ、「製造原価の見える化」が可能になります。

XMfジョブを自動作成

独自に構築されたMISにおいても、これまで作業指示書を元に手動で行っていたXMfのジョブ作成を、自動化することが可能。MISからホットフォルダ内に生成されたCSVファイルを『XMf Controller』が定間隔で読み取ってJDFファイルを作成することにより、XMfで進行可能なジョブが自動生成されます。



ジョブの進捗・実績をMISにフィードバック

ジョブの進行状況や機器の稼働状況を『XMf Controller』が中継し、MISにフィードバックするため、リアルタイムでの進行管理、コストの見える化が可能になります。

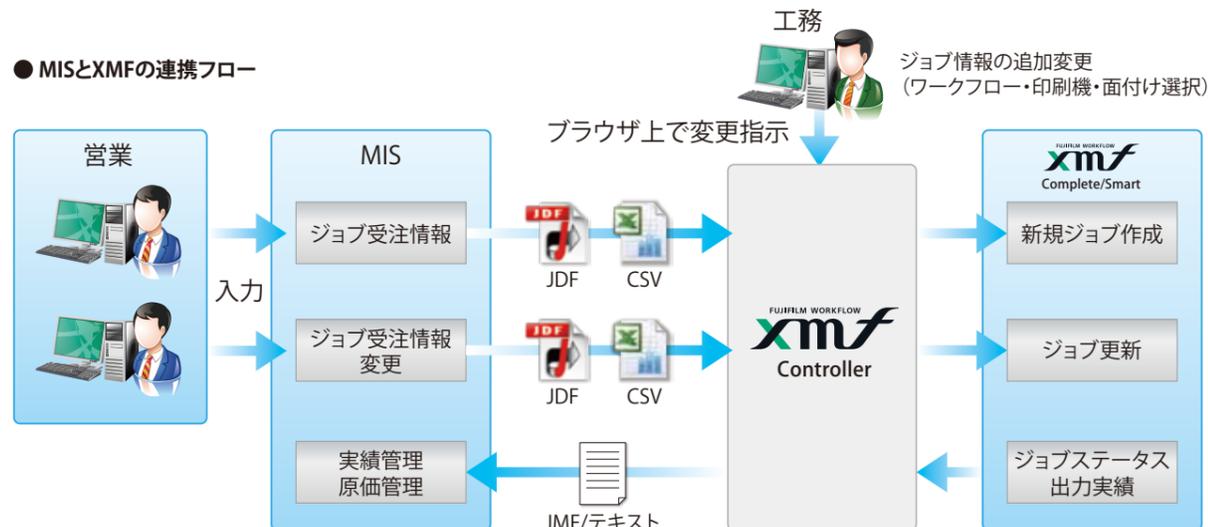
Webブラウザから変更指示が可能

進行中のジョブで、印刷機や面付けなどの変更が生じた場合、Webブラウザから『XMf Controller』にアクセスし変更指示を行なうことが可能。直感的に使えるGUIで誰でも簡単に操作できるため、たとえば、仕様変更の入力を工務の方が担当し、プリプレス部門の作業負荷軽減を図ることができます。

専用ワークステーションは不要

『XMf Complete/Smart』と同じワークステーション上で運用可能。新たに専用のマシンを用意する必要はありません。

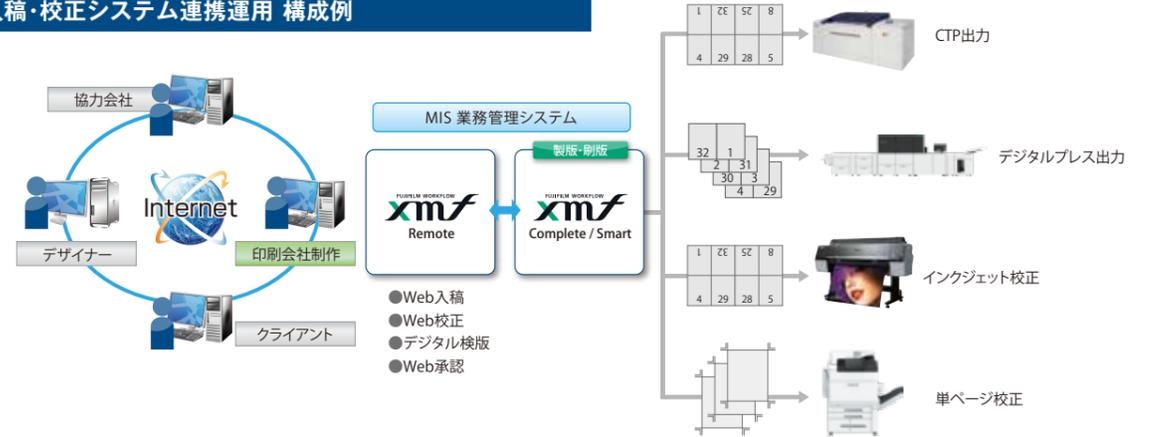
● MISとXMfの連携フロー



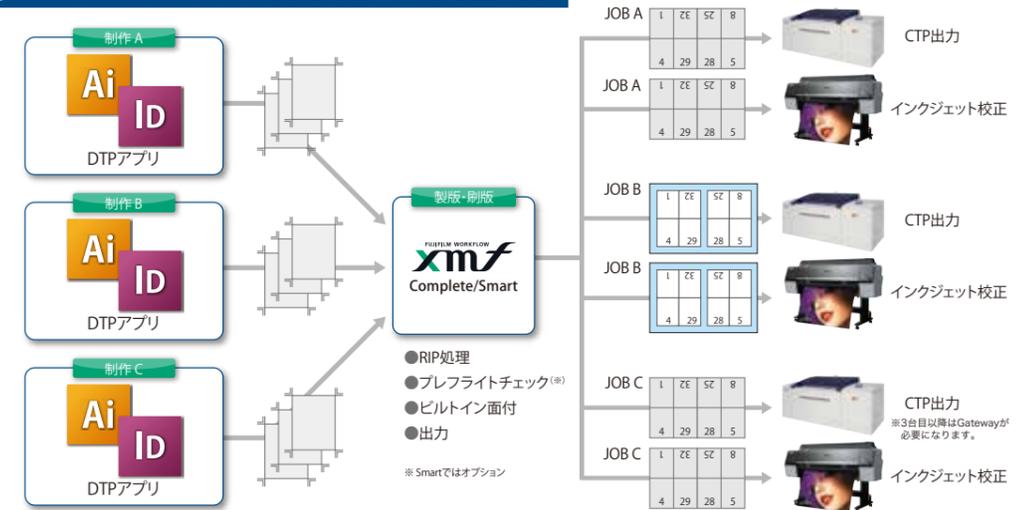
「多彩なラインアップ」で「多様なシステム構成」をご提案

RIP機能をメインにした最もシンプルな「エントリー構成」から、多彩なワークフロー機能を活かせる「ベーシック構成」、マルチデバイスで生産性を徹底追求した「全体最適化ワークフロー構成」にいたるまで、皆さまの事業戦略に合わせて導入でき、必要に応じてバージョンアップできる幅広い構成をご用意しています。

Web入稿・校正システム連携運用 構成例



Mercury RIP アーキテクチャでの同時進行処理運用 構成例



マルチサイト運用 構成例 (4サイト)

